

JAPANESE PATENT OFFICE
LAID-OPEN UTILITY MODEL PUBLICATION

Publication No.: Sho 59-114002
Date of Laying Open: 1 August 1984
U.M. Application No.: Sho 58-8303
Date of Filing: 24 January 1983

Inventor: Masashi Okumura
c/o Kabushiki Kaisha Kohken Sha, 38, Kawagishi-cho, 1-
chome, Mizuho-ku, Nagoya-shi, Aichi-ken, Japan

Applicant: Kabushiki Kaisha Kohken Sha
38, Kawagishi-cho 1-chome, Mizuho-ku, Nagoya-shi,
Aichi-ken, Japan

Attorney: Kentaro Iida

Title of the Device: Shoe for Practicing Golf

Abstract: The present device aims at providing a pair of shoes for practicing golf, which are so designed to allow a golf trainee wearing the shoes to keep setting his or her pivoting foot at a given point on the ground, without dislocation therefrom, while at the same time allowing the golf trainee to easily twist his or her shoulder and waist portions when practicing backswing.

Such pair of shoes for practicing golf in the present device are characterized in that one of the two shoes includes: a rotor element rotatably provides in a forward region of the sole thereof; and a downwardly extending spike portion provided to that rotor element in such a manner that the rotor element is in a slidable contact about the spike portion. Accordingly, if a golf trainee wearing such pair of shoes raises a heel region of the sole of the afore-said one of the two shoe a small distance from the ground to thereby apply his or her weight to the forward region of sole of that particular one of the two shoes, then the spike portion is forcibly driven and inserted by such forwardly shifted weight into the ground at a given point where the trainee's pivoting foot is set in position. Thus, the golf trainee can twist his or her body portion for a proper swing motion relative to the pivoting foot, without any dislocation of the pivoting foot from that given point, and simultaneously can turn his or her pivoting foot relative to the axis of the rotor element in accordance with the twisted body portion. This enables the golf trainee to make drive exercises smoothly.

公開実用 昭和 59—

114002

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—114002

① Int. Cl. ³	識別記号	庁内整理番号	⑬ 公開 昭和59年(1984) 8 月 1 日
A 43 B 5/00		6670—4 F	
13/26		6670—4 F	
A 43 C 15/02	1 0 1	6122—4 F	審査請求 未請求

(全 頁)

⑮ ゴルフ練習用靴

番地株式会社コーケン社内

⑯ 出 願 人 株式会社コーケン社

⑰ 実 願 昭58—8303

名古屋市瑞穂区河岸町一丁目38

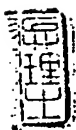
⑱ 出 願 昭58(1983) 1 月24日

番地

⑲ 考 案 者 奥村正志

⑳ 代 理 人 弁理士 飯田堅太郎 外 1 名

名古屋市瑞穂区河岸町一丁目38



明 細 書

1. 考案の名称

ゴルフ練習用靴

2. 実用新案登録請求の範囲

片方のゴルフ練習用靴の本底前方に、下向きのスパイク部を備えた回動自在なロータを取着したことを特徴とするゴルフ練習用靴。

3. 考案の詳細な説明

この考案はゴルフボールの打撃練習を行うときに着用するゴルフ練習用靴に関する。

従来、たとえば河川敷地帯やゴルフ練習場でゴルフボールの打撃練習（ドライバショット）を行なうときには、本底に小さな凹凸面が形成された靴、または台形の突出部が形成された靴を着用する。

つぎに、練習者は両足を少し開いて所定間隔を保持しつつ両手で正しくゴルフクラブを把持し、ついでアドレス、バックスイング、トップ・オフ・スイング、インパクト、フォロースルー、フィニッシュ等の姿勢を繰返してゴルフボールを打撃



する。

この場合、右打者はバックスイングからトップ・オフ・スイングへ移向するとき、身体を少し右側へねじり両手で把持したゴルフクラブを振上げるため、軸足としての左足用靴のかかとは少し浮上り、体重を本底前方部に加えて接地し、この状態から身体を左方向へねじると同時に両手で把持したゴルフクラブを振降してゴルフボールを打撃するインパクト姿勢に移向する瞬間に左足用靴は全面が接地し、逆に右足用靴はつまさきだけで接地してフォロースルー姿勢、ついでフィニッシュ姿勢に移向し、ついでアドレス姿勢に復帰する。したがって、ゴルフボールを打撃する瞬間の前後では、左足用靴の本底前方部で接地した状態から瞬間的に右足用靴のつまさきだけで接地する状態へ移向するため、とくに初心者の場合、左足用靴の接地位置がずれることによりゴルフボールは正面前方へあまり飛ばず、やや左側方また右側方へ飛ぶ例が多い。

この考案は上記にかんがみて、軸足となる足の



接地位置がずれないようにすると同時に、バックスイングするとき練習者の肩、腰をスムーズにねじることができるゴルフ練習用靴を提供することを目的とする。

この考案の要旨は片方のゴルフ練習用靴の本底前方に、下向きのスパイク部を備えた回動自在なロータを取着したものである。

以下、この考案の実施例を示す第1～2図にもとづいて説明する。

1はゴルフ練習用靴を形成する本底、2は本底の前方に小ねじ3で取着されるベースプレート、4は下向きに突出させた複数個のスパイク5を外周側に周設したロータ、6はロータ4をベースプレート2へスナツプリング6A等で遊嵌取着させたロータ軸、7A、7Bはベースプレート2とロータ4との間に形成されたわずかの空間からじんあい、水等の侵入を防止するOリングで、ロータ軸6と同心円状に配設されている。8はロータ軸6と円心円状にベースプレート2とロータ4に削設した環状溝2A、4Aに配置した複数個のボー



ルであつて、これによりロータ 4 はロータ軸 6 を中心として回動自在である。10 は本底 1 のつまさき部に形成した突出部である。

つぎにこの考案の作用を説明する。右打ち者の場合は、軸足となる左足に上記のように構成したゴルフ練習用靴を着用し、右足に通常のゴルフ練習用靴を着用する。そして両足を少し開いて所定間隔を保持しつつ両手で正しくゴルフクラブを把持し、ついで上記同様な順序でゴルフボールを打撃する。この場合、右打者の左足に着用したゴルフ練習用靴のかかとを少し浮上させて体重を該練習用靴の本底 1 の前方部に加えると、ロータ 4 に周設したスパイク 5 が地面に喰込まれるため、軸足となる左足の接地位置はずれることなく、身体のねじり方に順応して足の向きはロータ軸 6 を中心として回動するため、スムーズなドライバショット練習ができ、打撃したゴルフボールをほとんど正面前方へ飛ばすことができる。なお、左打者の場合は軸足となる右足に上記のように構成したゴルフ練習用靴を着用し、左足に通常のゴルフ



練習用靴を着用する。

以上のとおり、この考案に係るゴルフ練習用靴はドライバショット練習において、軸足となる足の接地位置を変えることなく、スムーズに足の向きを変えられるため、従来よりもゴルフクラブ先端に作用する遠心力を高めてゴルフボールをインパクトできるため、1ストロークの飛距離の延長とあいまってゴルフ競技の興味をいっそう増大できるという効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

図はこの考案の実施例を示し、第1図は主要部の下面図、第2図は第1図に示すA-A'矢視線に沿う断面図である。

1…本底、4…ロータ、5…スパイク部（スパイク）、6…ロータ軸。

実用新案登録出願人

代

理

弁理士

弁理士

株式会社 コーケン社

人

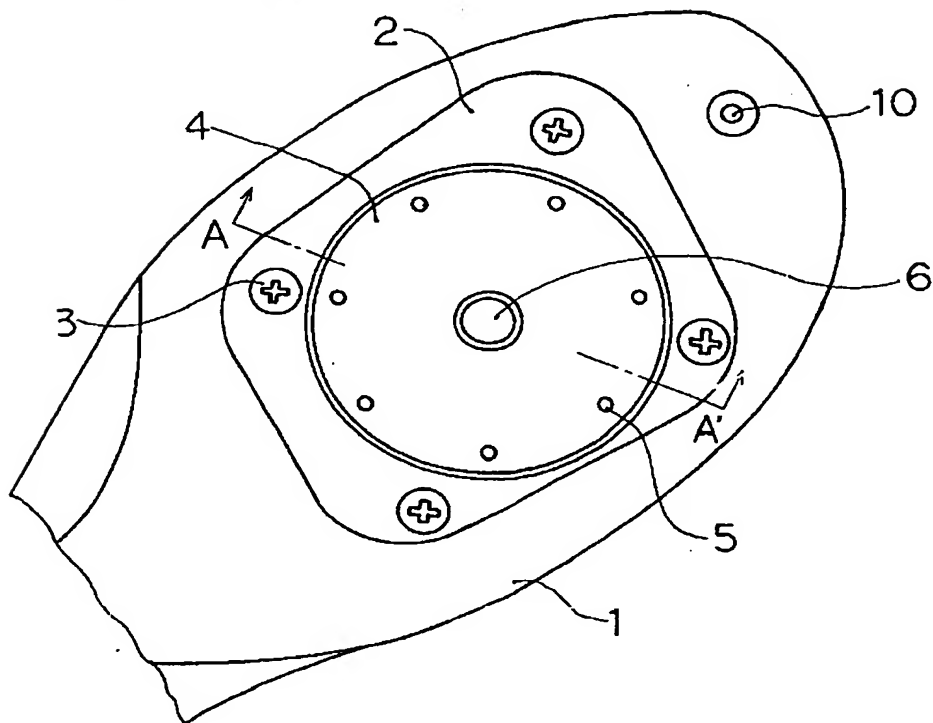
飯田 堅太 郎

飯田 昭 夫

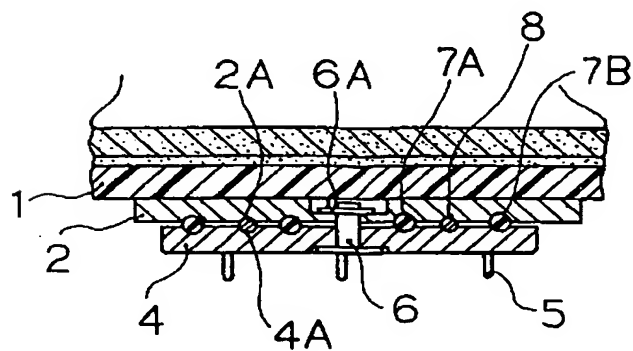


- 5 -

第 1 図



第 2 図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.